



応援団解団式

土曜日の運動会は、たくさんの保護者・地域の皆様にご声援いただき感謝しています。運動会閉会後に、各団の解団式がありましたので、ここに各団団長の声を紹介します。赤団団長の尾方 祐太さんは「『🟢帯西グリーン』の心が伸びたと思います。皆さんと楽しみながら運動会を盛り上げて、みんなと頑張れたからです。ありがとうございました。」と涙を流しながら感謝の思いを伝えまし



た。また、青団団長の古賀 勇成さんは「『🔴帯西レッド』の心が伸びました。最後の運動会になったので、1年生から5年生のときよりも全力を出せたと思います。5連覇はできなかったけど、自分の出せる力は出せたので良かったと思います。ありがとうございました。」と爽やかな表情で振り返りました。白団団長の城下 尚也さんは「優勝という大きな目標に向けて努力してきました。その中にぶつかり合いとか苦しいときもあったけど、みんなの仲が深まって優勝を勝ち取ることができたと思います。ありがとうございました。」と最高の笑顔を見せてくれました。子供たちは、運動会でそれぞれが成長したと思います。伸びた心を味わい、その伸びた力を今後どのように学校や生活の中で活かしてくれるか楽しみにしています。

子供は家庭で育ち、学校で学び、地域で成長する

今日(月)午前中は、地域の青少年健全育成協議会の会議に出席しました。その会議の後は、社会福祉協議会に参加しました。昨日(日)は、交通安全協議会、これまでも体育協会、コミセン総会、まちづくり協議会とたくさんの地域の会議に出席しています。そのような地域の会議に参加しながら、地域の方々の、本校教育に対する惜しみない協力体制と温かい眼差しをいただいていることに感謝の思いしかありません。

小見出しの通り、子育ては、親だけが担うものではありません。親に、家庭で子供を教育する責任があることは当然です。しかし、子供は家庭の中だけで育つわけではありません。学校で勉強するのは当然ですが、人間関係を学び、人の役に立つ喜びを感じ、人に役立つ行動の在り方を学びます。そして、地域の様々な人たちに見守られて成長していきます。このように、子供を育てることは未来の日本を支える人材を育てるものであり、親だけではなく、社会の一人一人、みんなが主役なのです。

子育てには多大な努力が必要であり、困難も伴いますが、親にとって子供の成長は何ものにもかえがたい喜びです。そして、子供たちが健やかに成長することを社会全体で支え喜ぶようにすることが重要と考えます。夏目漱石は、「教育は感化なり」と語っています。これは、親や教師、そして地域の方々の生き方・考え方に子供たちは感化され、これからの人生を歩んでいくための価値観の土台をつくっていくからだと思います。これからも家庭・学校・地域と共に子供たちを育てていきましょう。